

2020年6月29日

当院で Pipeline Flex を用いた脳動脈瘤の治療を受けられた患者さん・ご家族様へ
研究へのご協力をお願い

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、日常診療で得られた以下の診療情報を研究データとしてまとめるものです。研究のために、新たな検査などは行いません。この案内をお読みになり、ご自身またはご家族がこの研究の対象者にあたると思われる方で、ご質問がある場合、またはこの研究に診療情報を使ってほしくないとのご意思がある場合は、遠慮なく下記の担当者までご連絡ください。ただし、すでに解析を終了している場合には、研究データから情報を削除できない場合がありますので、ご了承ください。

【対象となる方】2016年7月1日から2018年12月31日に、当科で Pipeline Flex を用いた脳動脈瘤に対する血管内治療を受けられた患者さん

【研究課題名】Flow Diverter を用いた脳動脈瘤治療の効果と安全性に関する多施設共同登録研究

【研究責任者】国立循環器病研究センター 脳神経外科医長 佐藤 徹

【研究の目的】脳動脈瘤の患者さんを対象に、通常の診療で得られたデータを収集・解析することにより、Flow Diverter (Pipeline Flex) を用いた血管内治療の効果および安全性を評価し、より安全な治療法を確立することを目的としています。

【利用する診療情報】

・年齢、性別 ・脳動脈瘤の部位、大きさ ・治療内容 ・治療結果 ・経過

【外部機関への研究データの提供】

上記のカルテ情報を、次の研究機関に提供して、共同で研究を進めます。

・研究代表機関・研究事務局（情報管理責任者、本研究全般の窓口）

神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科 坂井信幸

住所：神戸市中央区港島南町 2-1-1

電話：078-302-4321

・主な共同研究機関及び研究責任者

広南病院 血管内脳神経外科 松本康史

筑波大学病院 脳神経外科 松丸祐司

新潟大学病院 脳神経外科 長谷川仁

順天堂大学病院 脳神経外科 大石英則

愛知医科大学 脳血管内治療センター 宮地 茂

名古屋大学病院 脳神経外科 泉 孝嗣

富山大学病院 脳神経外科 桑山直也

京都大学病院 脳神経外科 石井 暁

岡山大学病院 脳神経外科 杉生憲志

九州大学病院 脳神経外科 飯原弘二

他（別紙 Flower Japan 参加施設 参照）

【研究期間】 研究許可日より2023年3月31日まで（予定）

【個人情報の取り扱い】

お名前、住所などの個人を特定する情報につきましては厳重に管理を行い、学会や学術雑誌等で公表する際には、個人が特定できないような形で使用いたします。

【問合せ先】 国立循環器病研究センター 脳神経外科 担当医師 橋村 直樹

電話 06-6170-1070(代表)